

身近な図書館 鶴瀬西分館

西地域の中でも、「鶴瀬西分館ってどこにあるの?」という声が聞かれ、あまり知られていないようです。編集委員が館長にお話を伺いました。

学校とのつながりを大切に

つるせ台小学校に併設されている西分館。つるせ台小と鶴瀬小の入学説明会に出向き、「図書館利用カード」の申込みを受け付け、利用し易いようにしています。また、学校の要望に答え、学習の資料になる本を提供しています。授業の中で図書館を訪れ本を探していくこともあります。保育園の子どもたちもよく来てくれます。



小学校に併設されていて、児童書が豊富な西分館。未就学児から大人の方まで大歓迎です!

多彩なイベント!

定例の事業としては、おはなし会や映画会を開催しています。お話し会では読み聞かせの2つのボランティアの方が活躍してくれています。

不定期ですが、皆さんの要望にお応えした講座を開催することもあります。

夏休みには、読書感想文の書き方ワークショップ(全3回)や科学の講座も開催し好評でした。

地域とのつながりも...

つるせ台まちづくり協議会の一員として、8月5日(土)の「つるせ台まつり」に参加しました。中高生ボランティアと一緒に、図書館利用カード入れや、バスボムをつくりました。また、本の修理も地域の方をお願いしています。



小さい方から読む習慣をつけたいネ。



つるせ台小学校のコーナーには、統合前の鶴瀬西小・上沢小の資料や児童の作品、家庭教育や学校教育(教科書)の展示などがあります。



「つるせ台まつり」鶴瀬西分館の無料工作コーナーは子ども達で大賑わい。大盛況でした。



この夏休みは、小学生向けに「読書感想文の書き方」のワークショップを開催!

~鶴瀬西分館の歴史~

鶴瀬西分館が現在の場所で開館したのは、平成21年1月です。校舎の一部を利用しているため、つるせ台小学校の新校舎が利用され始めたときです。蔵書数は、3万7,000冊(3分の1が児童書)。1日の利用者は250~300人で、月7,000人ほど。訪ねたときは中高年の男性の姿が目立ちましたが、貸し出し数では40代の女性が多いそうです。



館長の長谷川さん

図書館の豆知識

その1: 借りたい本が棚にないとき
パソコンで蔵書検索をしてみましょう。その図書館になかったとしても、県立図書館や県内の他の市町村の図書館からも取り寄せられます(分館でも可能)。

その2: 富士見市の図書館

富士見市の中央図書館は、現在大規模改修により休館中(平成30年3月末日まで)で、今は臨時窓口のみ利用できます。

その3: 市外の図書館の利用

三芳町立中央図書館など、市外の図書館も利用できます。ただし、自治体ごとに図書館のカードが違うため、それぞれに登録をする必要があります。返却ポストも別々です。



富士見市立図書館 鶴瀬西分館

鶴瀬西2-9-1 電話: 049-252-5945
鶴瀬駅東・西口から徒歩10分 駐車場なし
開館時間: 午前9時30分~午後7時
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、特別整理休館日

◆利用者の声◆

私と娘は西分館の「大ファン」です!

(鶴瀬西・小栗知実さん)

娘が未就学児だった頃、おはなし会を楽しみにしていたことを思い出します。特に目的にした本があるという訳でもなく、娘は文字が読めない時には絵本、写真が多くある図鑑、私は料理、旅行、育児...いろいろな情報を得ていました。活字に囲まれている図書館はゆったり時間が流れる場所のような気がします。また、日常の幅を広げてくださる企画が年中展開されています。私たちにとって、西分館の存在は「本」だけでなく「日常の底上げ」をしてくれる「場」です。職員の皆さんに絶妙な距離で見守っていただいて、安心して子育て&自分育ちができていれると思います。これからもますます地域に根差した西分館であり続けてください!



書齋代わりの西分館

(関沢・牛田進亮さん)

なにか面白いこと無いかなくと返屈する時すぐに自転車で西分館に向かう。新聞、雑誌を片っ端から読み通せば、すぐ半日が経つ。それとあらかじめ用意していたリクエストの本をお願いすると、一週間前に頼んでいた本が手元に届く。誠に便利で有効な図書館である。職員の方々もとても優しく丁寧に対応してくれるのが何よりも嬉しい。